



H29

チャレンジ! グリーン活動

生物保護コース

多度津町立四箇小学校

4年団

四箇小学校の中庭には、水が流れるビオトープがあります。中心となって活動するのは、4年生の児童61名です。4年生はビオトープの動植物の観察をしたり、草抜きや掃除をしたりしています。また、「水辺の教室」での自然観察を通して四箇校区の自然を調べています。

目標

「花と笑顔と親切いっぱい四箇小学校」のキャッチフレーズのもと、身近な自然と触れあい観察することで、自然を大切にしようとする態度を養い、自然の大切さを発信する。

指標

四箇小学校のビオトープや校区の動植物を観察した結果を、地域や家庭に情報発信する。

活動の様子

1 ビオトープでの活動

ビオトープの植物について観察するものを決めて、季節ごとの変化や植物や生き物の種類や特徴、生態や豆知識など、調べたことを発表して、興味をもってもらえるように取り組んだ。



何を伝えたら、みんなが興味をもってくれるかな？実際にレモンを見てもらったり、みんなが驚く豆知識があったりすると、いいよね。



見てください。小さいレモンができています。



メダカには、たくさんの種類がいます。ここにいるのはどれかな？

2 「水辺の教室」で

校区内にある弘田川に行き、町の環境課の方に教えていただきながら、川にいる水生生物の種類から水質を調べたり、CODパケットテストをしたりして、川の環境を守ることの大切さを学んだ。



川に住んでいる生き物を調べ、パケットテストをすると、思ったより水はきれいでした。私たちが気を付けて、水をきれいに保たないとね。

<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

- ・ ビオトープでの調べ学習では、みんなが興味をもてる発表を意識して取り組んだ。そのことで、真剣に話を聞き、興味をもって観察を続ける子どもが増えた。
- ・ 水辺の教室と社会の「水の行方」の学習を関係付けることによって、水を節約する、台所にしよう油、油などを流さないなど、自分たちにできることを考えることができた。

目標の達成度

ビオトープでの発表会では、友だちが興味を引く豆知識を含めて発表したことで、帰ってお家の人に話したり、さらに調べたりした児童がたくさんいた。

水辺の教室と社会科の「水の行方」の水を大切にするために自分ができていることを関連付けて学習